

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)日本子ども福祉専門学校 新築工事 中央区 花園一丁目58番.59番.84番 商業地域、準防火地 学校, 2016年7月 予定 498.13 m ² 319.87 m ² 2,347.98 m ² 地下1F、地上7F S造 実施設計段階評価 2015年6月19日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{47.0}{38.8} = 1.2$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	2.5
			更新性	3.4
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.8		耐震・免震	3.0
			信頼性	2.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

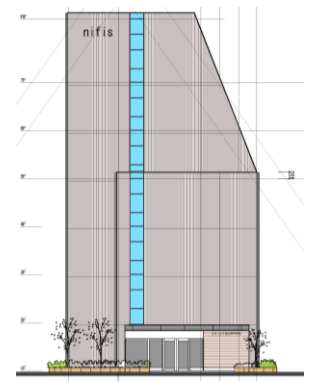
- ・断熱を適切に計画することで、外壁、屋根及び窓等を通して建物の熱負荷抑制に配慮している。
- ・水栓や便器等への節水型器具の採用や仕上材にリサイクル資材を利用することで、資源の保護に配慮している。
- ・建物配置、道路沿いへの植栽計画、屋外設備機器の屋上設置及び周辺環境に調和する淡い色彩計画等により、周辺とのつながりや景観形成に配慮した計画としている。

CASBEE[®]新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日本こども福祉専門学校 新築工事	階数	地下1F、地上7F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	345 人
気候区分		年間使用時間	3,100 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2015年6月19日
敷地面積	498 m ²	作成者	株式会社 基設計
建築面積	320 m ²	確認日	-
延床面積	2,348 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 89%
③上記+②以外の 89%
④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 新潟駅周辺の商業ビルや集合住宅が建ち並ぶ商業地域の狭い敷地のなかで、道路境界からのセットバックした建物配置、道路沿いへの植栽計画、設備機器の屋上設置及び周辺環境に調和する淡い色彩計画等により、周辺とのつながりや景観形成に配慮した計画としている。		その他 特になし
Q1 室内環境 全面的にF☆☆☆☆の材料を使用することや適切な自然換気及び機械換気性能を計画することで、学校教室の空気質室内環境に配慮している。また、建物を全館禁煙としている。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースであるラウンジを主要教室のある階に設けることにより、建物利用者の使用状況に配慮した計画としている。また、耐用年数の長い材料を採用し、建物の維持管理に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 狭い敷地のなかで、前面道路との境界からセットバックした建物配置とし、街路空間にゆとりをもたせ、道路沿いに可能な限り植栽を施すことで、周辺環境に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー 断熱を適切に配し外壁や窓を通しての負荷を抑制し、LED照明や効率化設備を採用することで、エネルギー消費を低減させることに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用やリサイクル資材を利用することで、資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼設備を採用しないことで、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される